

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

5月26日

昔のカレンダーの呼び方を「旧暦（きゅうれき）」とも言います。

いくつか覚えることができましたか。

もうすぐ、6月です。6月10日は「時（とき）の記念日」

時間を計るとき、今は1日の時間を同じように分けていますが、日の出や日の入りをもとに時を決め生活していました。鉄道の運行など数秒遅れでも「申し訳ありませんでした」と言うアナウンスが流れる今からは想像できませんが、時間におおらかだったのでしょ。

今日は、時間の単位を覚えてしまいましょう。

上学年の皆さんは復習も下学年の皆さんは予習にもなりますね。

「時（じ）」「分（ぶん）」「秒（びょう）」はすぐに思い浮かぶことができるでしょう。3つの中でどれがいちばん長い単位なのでしょう。

さらに「周（しゅう）」「旬（じゅん）」「月（がつ・つき）」「年（ねん）」と続きます。

「世紀」も入るでしょうか。

上学年の皆さんは、小さい単位のものがかいつまると次の単位になるのか

まとまりも考えてみてください。分かったことは、これまでと同じようにノートに書いてみましょう。

5月27日

60秒で1分（いっぶん） 「ぶん」ではなく「ぷん」と言うのも面白（おもしろ）いですね。60分（ぷん）で1時間になります。24時間で1日になります。10のまとまりで次の単位になっていないのも不思議（ふしぎ）です。

今日も、時間の続きです。

「昭和〇年」「平成〇年」「令和〇年」と言うのを「和暦（われき）」と言い、「1995年」や「2020年」のような年のあらかたを「西暦（せいれき）」といいます。

「2020年は子年（ねどし）」とか「〇年生まれ」など聞いたことはありませんか。それぞれの年に動物が当てはめられています。実際にいる動物もいれば想像（そうそう）の動物もいます。

→「子（ね）」→「丑（うし）」→「寅（とら）」→「卯（う）」→
「辰（たつ）」→「巳（み）」→「午（うま）」→「未（ひつじ）」→
「申（さる）」→「酉（とり）」→「戌（いぬ）」→「亥（い）」→
をくり返します。

→「ネズミ」→「ウシ」→「トラ」→「ウサギ」→
「リュウ」→「ヘビ」→「ウマ」→「ヒツジ」→
「サル」→「トリ」→「イヌ」→「イノシシ」→

漢字も今使っているものとちがう漢字もありますね。

年を表すだけでなく、時間や方角もこれらの言葉を使っていました。

声に出して、リズムで覚えてしまいましょう。